

【一】 次の文を読んで、後の問いに答えなさい。

現在、環境問題がさまざまに議論されています。一口に環境問題といっても、地球温暖化・オゾン層の破壊・熱帯林の減少・酸性雨・有機化合物や有毒金属による地球汚染など、多くの問題にわたっており、対策も個々の問題に応じて異なっています。逆に、原因はただ一つです。人間の諸活動が、環境問題を引き起こしているからです。地上に人類が現れて以来、地球環境は汚染され続けてきたと極論を言う人もいます。実際、人類の手で多くの種が絶滅させられました。(あ)、人類も自然に生まれてきた生物の一つですから、その活動が環境に影響を与えるのは必然なのかもしれません。

ただ、人類は生産活動を行うという点で他の生物とは異なった存在であり、自然では作り物質を生産し、その大量消費を行うようになったのも事実です。その結果、人類の活動が地球の環境が許容できる能力と匹^①テキするほどのレベルに達しており、自然では浄化しB人工化合物があふれ、新しい生命体を作る試みすらし始めています。人類は、意識しているかどうかは別として、環境を根本的に変えC事態を招いているのです。

かつては、「環境は無限」と考えられていました。つまり、環境の容量は人類の活動に比べて圧倒的に大きく、すべてを吸収処理してくれると思ってきました。(い)、廃棄物を平気で海や空に捨て、森林を切り、海や湖を埋立て、ダムを造ってきました。しかし、環境が無限でないことを、さまざまな公害によって学んできました。また、陸にも海にも砂漠化が進み(海にも砂漠化が進み、海藻が枯れています)、自然の生産力が落ち始めています。確かに、このままの消費生活を続けると、地球の許容能力を越え、カタストロフィー^{*}が起るかもしれません。人類の未来は、環境問題の危機をいかに乗り切るかにかかっていると、言っても過言ではないでしょう。二一世紀は、まさにこの課題に直面する時代となるに違いありません。

この環境問題の原因は、無責任に大量生産・大量消費の社会構造にしてしまった私たちの世代の責任であると考えています。自分たちは優雅で便利な生活を送りながら、その「借金」¹を子孫に押しつけているのですから。借金の最大の象徴は、原子力発電所から出る大量の放射性廃棄物でしょう。電気を使って生活を楽しんでいるのは私たちですが、害にしかない放射性廃棄物を一

万年にわたってカン理し続けねばならないのは、私たちの子孫なのです。(う)、熱帯林を切って大量の安い紙を使っているのは私たちであり、表土が流されて不毛の地となってしまう大陸や島に生きねばならないのは子孫たちなのです。環境問題は、すべてこのような構造をもっています。この点を考えれば、せめて子孫たちの負担を少しでも軽くするような手^{iv}だてを打っていかねばなりません。

この地球環境の危機に対し、「原始時代のような生活に戻れ」という主張をする人がいます。大量消費が原因なのですから、それをやめればいいという単純な発想です。しかし、それは正しいのでしょうか。いったん獲得した知識や能力を捨てて、原始時代の不安な生活に戻れるものなのでしょうか。生産力の低い生活に戻れば、どれほど多くの餓死者が出るのでしょうか。はたして誰が、それを命じることができるのでしょうか。たぶん、答えは、そんな知恵のない単純なものではないと思います。なすべきことは、³現在の私たちの生き方を振り返り、いかなる価値観の変更が必要で、そのためには、科学がいかなる役目を果たすべきかを考えることではないでしょうか。

環境問題を引き起こした原因の一つは、現在の生産様式が自然の論理に合っていないことにあります。ある意味で、かんたんで楽なやり方しかサイ用^③してこなかったのです。

例えば、現在の生産方式の多くは、工場(プラント)を集中化し、巨大化した設備で大量生産を続けるという方法がとられています。その方が、生産効率が高く、省力化できる、(え)安上がりで大量に生産ができるという経済論理が優先されているのです。そのために、政府が基盤整備に投資を行い、それに合わせて輸送手段を集中し、都市へ人を集めるというふう^{※ましん}に、社会構造まで含めて巨大化・集中化に邁進^{※ましん}しています。その結果、少量ならば自然の力で浄化できるのに、大量に工業排出物を放出するため、海や空気の汚染を深刻化させたのです。

工場を分散させ、小規模施設とすることが、まず第一歩です。それでは生産力が落ちると反論されそうですが、小規模でも同じ生産力を保つ研究が必要なのです。そのヒントは、科学の技術化は、一通りだけではないという点にあります。(お)、今までは大規模生産しか考えず、それに適した技術しか開発してこなかったといえるかもしれません。もうけるという経済論理が、科学

技術の中身を決めてきた可能性があります。「自然にやさしい科学」とは、従来とは異なった、小規模でも高い生産性をもつ原理や技術の発見という意味を込めています。

また、巨大化・集中化は「画一化」⁴につながっています。全国いたるところで、同じ物が売られ、同じテレビ番組が流れ、同じビルが建ち並んでいます。画一化された文化の中で、画一化された生活を送り、画一化された製品に囲まれている結果が、大量消費構造を支えているのです。それぞれが、独自の生活スタイルをとり、固有な文化を生き、独特の生産様式をつくり出す、という価値観の転換が必要だと思えます。そのような「多様性」の中で生きるためには、どのようにして太陽や風や海流や地熱など自然のエネルギー利用を行うか、人工化合物でなく自然物を利用するかなど、やはり「環境にやさしい科学」⁵が望まれることになるのです。

その可能性は、エレクトロニクス技術による「マイクロマシン」という、生物が採用している生体反応を利用するのに似た方式にあるかもしれません。虫は、あんなに小さな体なのに、実にセイ⁴巧な機能をもっています。例えば、蚊は、一センチにもならない体であるにもかかわらず、獲物を探すための三種のセンサー（二酸化炭素用 || 人の呼吸、赤外線用 || 人の体温、乳酸用 || 人の汗）、毛細血管の位置を探る超音波センサー、皮膚に穴を開けるノコギリ状のパイプと鋭い針の二重構造からなる口吻^{※1}、針の先端部が血管で止まるように血漿^{けっしょう}をケン⁵知するセンサーをもっています。

また、原子一個を制御するナノテクノロジーも、新しい工学機械の可能性を拓く^{ひら}かもしれません。マイクロマシンやナノテクノロジーなどから、大量生産・大量消費とは異なった論理で生きる社会をめざす必要があると考えています。

（池内 了『科学の考え方・学び方』より）

※ カタストロフィー：破滅や破局

※ 邁進^{まいしん}：心をふるいたたせて突き進むこと。

※ 口吻^{こうふん}：口吻

問一 傍線部①から⑤のカタカナ部と同じ漢字を使うものを次の中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

- | | | | | | | | | | |
|---|-----|---|--------|---|----------|---|-----------|---|----------|
| ① | 匹テキ | あ | テキ材てき所 | い | テキと味方 | う | 一テキの水 | え | テキ出手術 |
| ② | カン理 | あ | カン略な表現 | い | 作業がカン了する | う | カン公庁のお知らせ | え | 報道カン制を敷く |
| ③ | サイ用 | あ | サイ会を誓う | い | テストのサイ点 | う | 民族のサイ典 | え | 本に記サイする |
| ④ | セイ巧 | あ | セイ耕雨読 | い | セイ攻法で攻める | う | セイ励賞を与える | え | セイ功と失敗 |
| ⑤ | ケン知 | あ | 体ケン学習 | い | ケン悪な関係 | う | 政ケン放送 | え | 点ケンする |

問二 傍線部 i 「極論」の「極」、iii 「許容」の「容」と同じ意味のものを次の中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

- | | | | | | | | | | |
|-----|------|---|----|---|----|---|----|---|----|
| i | 「極論」 | ア | 極意 | イ | 極端 | ウ | 極楽 | エ | 極致 |
| iii | 「許容」 | ア | 容姿 | イ | 容易 | ウ | 容認 | エ | 容疑 |

問三 傍線部 ii 「必然」、v 「単純」の対義語を考え、それぞれ漢字で答えなさい。

問四 傍線部 iv 「手だて」の意味として適切な熟語を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- | | | | | | | | |
|---|----|---|----|---|----|---|----|
| ア | 計画 | イ | 準備 | ウ | 方策 | エ | 趣向 |
|---|----|---|----|---|----|---|----|

問五 空欄 A B C に入る適切な接尾語を次の中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

- | | | | | | | | |
|---|------|---|------|---|-----|---|-----|
| ア | きれない | イ | かねない | ウ | 得ない | エ | しぶる |
|---|------|---|------|---|-----|---|-----|

問六 空欄（あ）から（お）に入る適切な語を次の中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

ア だから イ むしろ ウ あるいは エ しかし オ もし カ つまり

問七 傍線部1「借金」について、次の(1)(2)の設問に答えなさい。

(1) 「借金」で使われている表現技法を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 擬人法 イ 倒置法 ウ 直喩 エ 隠喩

(2) 「借金」の具体例を二つ、文中よりそれぞれ五字程度で抜き出しなさい。

問八 傍線部2「それ」の指示内容を文中の語を用いて、十一字で解答欄に合うように答えなさい。

問九 傍線部3「私たちの生き方」を支えている社会のあり方を端的に表した九字の表現を抜き出しなさい。

問十 傍線部4で筆者は現在の私たちの社会を「画一化」という言葉で表していますが、この言葉と対比して用いている漢字三字の熟語を抜き出しなさい。

問十一 傍線部5「環境にやさしい科学」の説明として適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 人工化合物をいかに自然物から作り出すかという自然に焦点を当てた科学。
- イ 現在の科学技術をさらに発展させ、より生産性の高い技術を求める科学。
- ウ 非効率的な手作業による生産方式を、より効率的な機械作業や、遺伝子の開発に取り組む科学。
- エ 人工化合物を用いるのではなく、自然物をいかに利用していくかということを進めていく科学。

問十二 文中

X

に次の各文を文脈の通るように並べ換え、記号で答えなさい。

ア ところが、蚊は、それを見事に作り上げています。

イ ヒントは、電気エネルギーを使って機械を動かすのではなく、生体反応をもつと利用することにあります。

ウ マイクロマシンは、そのような小型でエネルギーをあまり使わない生物機械を実現することをめざしています。

エ もし、私たちが、これだけの機能をもつ機械を作ろうと思えば、非常に巨大でエネルギーを使う機械となってしまうでしょう。

問十三 本文の内容に合致するものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 現在の環境問題は、私たちが優雅で便利な生活を送ってきた結果のものであるので、今の生活を原始時代のような生活に戻せば簡単に解決できるものである。

イ 現在の環境問題は、その原因はさまざまであり、それぞれ多くの問題を含んでいるので、その解決は次の世代に任せるしかない。

ウ 現在の環境問題は、私たちの地球は「無限」の力があると考えてきたことによるので、その解決に向けての方法はないに等しい。

エ 環境問題を解決するためには、従来のような効率優先の画一化された社会構造と、私たちの価値観の変更を行う必要がある。

オ 環境問題は、私たち人間の諸活動が原因であるが、現在地球規模で人口が増え続けている中、環境問題の解決はきわめて困難である。

【二】 次の古文を読んで、後の問いに答えなさい。

今は昔、春つかた、日うららかなりけるに、六十むそじばかりの女のありけるが、虫うち取りてゐたりけるに、庭にすずめすずめのしありきけるを、わらはべ石を取りて打ちたれば、当たりて腰をうち折られにけり。羽をふためかして惑まどふほどに、からすのかけありきければ、あな心憂こころう、からす取りてんとて、この女急ぎ取りて、息しかけなどしてもの食はず。小をけに入れて夜は納む。明くれば米食はせ、銅あかがね、葉にこそげて食はせなどすれば、子ども、孫うまじなど、あはれ、女とじは老いてすずめ飼はるとて憎み笑ふ。かくて、月ごろよくつくるへば、やうやうをどりありく。すずめの心にも、かく養ひ生けたるを、いみじく（ Y ）と思ひけり。

〔宇治拾遺物語〕より

※ のしありきける…ちよこちよこ歩いていた

※ あな心憂…ああ心配だ

※ 月ごろよくつくるへば…いく月かよく治療したので

問一 傍線部イ、ホをすべてひらがなで、現代かなづかいに改めなさい。

問二 二重傍線部 A、C の主語をそれぞれ文中から抜き出しなさい。

問三 波線部 X「かくて」とあるが、女のとつた行動の具体的内容を文中から探し、最初と最後のそれぞれ五字で答えなさい。

問四 文中の空欄Yに入る適切な語を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア かなしかなし イ うれしうれし ウ をかしをかし エ いとほしいとほし

問五 この作品は『宇治拾遺物語』の中の一節です。この作品と同じ時代のもを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 万葉集 イ 徒然草 ウ おくの細道 エ 枕草子

【二】 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

友人と話していたら、「大事の前の小事」ということばの解釈がくい違ふことがわかった。大事の前には、小さなことにはかまわない方がよいという意味だろう、いや、ささいなことにも慎重に対処せよという意味だ……。

調べてみると、どちらの意味に解してもよいらしい。連想が飛んで、別のことわざが話題になった。「情けは人の（①）ならず」。人に情けをかけるのは甘えさせる結果になるからよくない、と解釈する人が昨今が多いという話である。

むろん、伝統的な解釈は、情けを人にかけておけばめぐりめぐって自分により報いがくる、というものだ。だが、新しい解釈もなかなか面白い。過保護への批判や、個人の自立の大切さを示すことばともとれる。

昔から人々が言いならわしてきたことわざには、鋭い風刺や **A**、**B**、知識などが盛り込まれている。口調もよく、味のあるものが多い。外国に同じ言い回しがあるのを知るのも興味深い。

子どものころから無意識に **C** にする言葉が人生観や世界観に影響し、たとえば、「出る（②）は打たれる」と思い込めばそれが態度にあらわれ、「井の中の蛙（③）を知らず」と聞けばそれが広い世界への好奇心、向上心につながることもあるかも知れない。

一面の真理だけに触れたことわざが多い、ということを知るのも物事を比較しながら相対的に考える知恵を育てることだろう。何せ「渡る（④）に鬼はない」と言うかと思えば「人を見たら（⑤）と思え」だ。「善は急げ」と言いながら「せいてはことを仕損じる」。フランスでも「目から離れば心も離れる」（去る者は（⑥）にうとし）の一方で「少しの不在が大きな利益をもたらす」というそうだ。

自分の言葉に責任を持たず、平気で撤回する閣僚がいる。政治家の名誉はどこへ、である。「人は一代、名は末代」。これには、反対の意味のことわざは見つからない。

（朝日新聞「天声人語」より）

問一 空欄A、Bに入る組み合わせとして適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

イ A 仏の教え B 歴史

ロ A 笑い B 音楽

ハ A 批判 B 処世訓

ニ A 風俗 B うわさ

ホ A 怒り B 喜び

問二 空欄①～⑥に適切な語を入れことわざを完成させなさい。なお①②はひらがな二字、③④⑤⑥は漢字二字で答えなさい。

問三 空欄Cに身体の一部を表す漢字を一字入れ、慣用句を完成させなさい。

問四 文中の慣用句と同じように、次の1から6の空欄に身体の一部を表す漢字一字を入れ、慣用句を完成させなさい。また、あてはまる意味を次の中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。(同じ記号を二度使わないこと。)

- 1 目と()の先。
- 2 ()に火をともし。
- 3 ()を洗う。
- 4 ()をまく。
- 5 ()が立つ。
- 6 ()が酸っぱくなる。

意味

- イ よくない社会から抜けること。
- ロ 繰り返して言うこと。
- ハ 距離の近いさま。
- ニ ひどい儉約ぶりをたとえていうこと。
- ホ 世間への面目が立つこと。
- ヘ 驚くこと。感心すること。

問五 文中の「二代」を使った四字熟語に「二世一代」という語句がありますが、このように四字熟語には漢数字を使ったものが多くあります。空欄①から⑩に適切な漢数字を入れ、次の四字熟語を完成させなさい。また、あてはまる意味を次の中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。(同じ記号は二度使わないこと。)

- 1 (①) 石 (②) 鳥
- 2 (③) 三 (④) 五
- 3 (⑤) 日 (⑥) 秋
- 4 (⑦) 差 (⑧) 別
- 5 朝 (⑨) 暮 (⑩)

意味

- イ ひたすら待ちわびる様子。
- ロ 口先だけで人をだまし、ごまかすこと。
- ハ 物事の様子がそれぞれ様々に違っていること。
- ニ 一つの行為で二つの利益を得ること。
- ホ 人が少数人数ごとに固まって歩いている様子。